

実践『ペルソナ』通信 (No. 110)

「スマートフォン」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「スマートフォン」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査から、スマホケースは主に「透明ケース」「手帳型ケース」「柄のあるケース」の3種類を使用している人が多いことがわかり、特に「透明ケース」を使用する人が最も多い結果となりました。そして透明なスマホケースの中でも、ケース全体が透明なもの、ケースの縁が色つきのラバーで囲われているものの2種類が使用されていました。

また透明なスマホケースには自分の好きなキャラクターや芸能人のステッカーや写真を挟んでいる人が多くみられ、好きなようにカスタマイズすることで「自分だけのスマホケース」として楽しまれていることがわかりました。

調査結果のポイント

(1) ほとんどの人がスマホケースを使用している

今回調査した中で、スマホケースを使用していない人は1人でした。ほとんどの人がなんらかのスマホケースを使用していることがわかりました。

(2) 透明のスマホケース使用者が多い

多くの人がスマホケースには、透明のタイプを使用していました。透明で柄の入っているスマホケースを使用する人も見られましたが、多くの方は柄が入っていないものでした。スマホケースの中にオリジナルのものを挟んでいることがわかりました。

(3) 透明のスマホケースにはステッカーや写真を挟んでいる人が多い

透明のスマホケースを使用している人の多くが、ステッカーや写真を挟み自分だけのオリジナルなスマホケースとして楽しんでいることがわかりました。挟んでいるものは、キャ

ラクターや芸能人のステッカーなど人それぞれで一人ひとりの個性がみられました。

(4) 透明なケースには縁があるものかないものがある

透明なケースの中にも全体が透明なものを使用している人と縁に色がついているものを使用している人がいることがわかりました。透明なケースでも様々な種類があることが読み取れました。

(5) シンプルなデザインのスマホケースが多い

今回調査した中で最も多かったのは透明のスマホケースですが、それ以外にも無地のものや落ち着いた色のデザインが多くシンプルなデザインを好む傾向がみられました。

(6) 手帳型ケースの人はレザー製を使用している

スマホケースには多くの方がプラスチック製のものを使用していましたが、手帳型タイプの人のみ、レザー製のものを使用していました。

調査概要

- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2022年12月
- 調査場所：実践女子大学

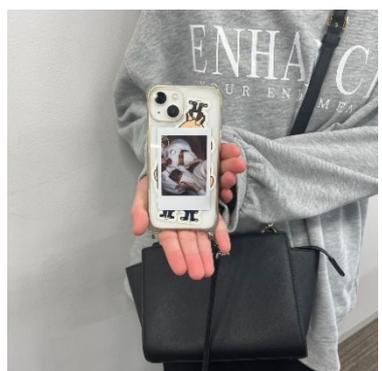
調査担当者

実践『ペルソナ』 齊藤佳乃・西澤悠華・根津早弥花・八巻陽菜



写真

【透明ケース（縁なし）】



【透明ケース（縁あり）】



【手帳型ケース】



【その他】



【つけてない】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生が利用するスマホケースの中で最も多いのは透明なケースであることがわかりました。中身が見える透明なケースを使うことで自分の好きなステッカーや写真を挟み、自分だけのオリジナルなスマホケースとして楽しんでいる人が多いのではないかと考えられます。また、透明なスマホケースの中でも、ケースの縁に色つきのラバーがついているケースを使っている人と全体が完全に透明なケースを使っている人の2パターンに分けられることがわかりました。このラバーのあるスマホケースはスマホを転落させてしまった際にスマホの画面を守る役割を持っているため、自分はスマホを落としやすいと感じている人や、画面を割りたくないという意識が強い人はラバーのあるスマホケースを使用していると考えられます。また、スマホケースには多くの人がプラスチック製のものを使用していましたが、手帳型タイプの人のみ、レザー製のものを使用していました。A面の調査結果の通り、Be面の写真観察でも、透明や無地のシンプルなデザイン・色のスマホケースが好まれており、奇抜な色をしたスマホケースを使用している人は見られませんでした。

スマホケースはほとんどの人が使用しており、スマホを守るためやオリジナリティを出すためなどの理由で付けているのではないかと考えられます。

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業や対面授業など様々な授業形態の中、たくさんの方々に直接調査にご協力していただくことができました。学んだことや反省点がいくつか見られたので、この経験を今後の調査・分析に活かしていきます。改めて、調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

